

経営協議会学外委員からの指摘事項への対応について(平成25年度対応済み分)

広島大学

事 項【意見抜粋】	本学の対応	対応室	指摘回	対応状況
<p>TOEICの卒業要件化について 【「TOEICの卒業要件化」は、今在籍している学生からすぐに始めていただきたい。学部によって温度差があって全学一斉の実施が難しいのであれば、可能な学部から始めるべきである。】</p>	<p>「TOEICの卒業要件化」に関する学生との意見交換会(平成24年12月21日(金)16:30~17:30, 学生プラザ1階フリースペース, 学生(留学生4名, 日本人学生13名), 大学関係者(学長, 教育担当理事・副学長, 財務・総務担当理事, 学士課程会議議長, 外国語教育研究センター長))を開催し, グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を身に付けるためにはどうすれば良いかという視点で活発な意見交換を行った。 なお, 本学の中期目標の一つとして, 学生の外国語運用能力を向上させ国際化に対応した能力を身に付けた人材養成に繋げるため, 各主専攻プログラムごとに卒業時における外国語運用能力の目標値(概ね上位10%の学生が達成できる目標値とし, ホームページで公開している。)を設定するとともに, 語学習得に意欲的な学生の能力を更に伸ばし, 学生全体の底上げを図っている。 その後, 平成25年4月に, 役員を中心としたWG(行動計画2013策定WG)を設置して検討を重ねた結果, TOEICの卒業要件化については, 当面導入を見送ることとした。 なお, AO入試におけるTOEIC, TOEFL等の活用については, 以下の3つの活用パターンを部局に示したうえで, 学部の実態や募集単位の状況に応じて, いずれかを選択して実施することとした。 ① TOEIC, TOEFL等の一定の等級又はスコアを取得している者に対して出願資格を与える ② TOEIC, TOEFL等の一定の等級又はスコアを取得している場合, そのスコア等を従来の「英語」試験に置き換える。又は加点する ③ TOEIC, TOEFL等の一定の等級又はスコアを取得している場合, 合否判定時に評価する また, 一般入試における活用については, AO入試における活用について検証したうえで, 導入を検討することとした。</p>	<p>学長室 教育・国際 室 (教育)</p>	<p>第38回 (24.11.15)</p>	<p>対応済 (25.9.6報 告)</p>
<p>学内の研究シーズの共有について 【広島大学はこれだけの総合大学なのだから, 学部・学科間の共同研究を推進していく必要があると思う。そのためには, 各教員の研究シーズのデータベースを構築するなどして, その情報が共有できていなければならぬ。】</p>	<p>研究シーズは, 統合技術情報発信システム「ひまわり」に科研費の領域別に分けて学内外に発信するとともに, 科研費等の採択情報を「教員活動状況調査システム」に登録し, 研究者総覧として学内外に公開している。なお, 各教員間の情報共有については, 各システムの情報を活用するように周知徹底していきたい。 また, 研究シーズのデータベースの構築は, 国が導入を進めている「ReaD&Researchmap」(R&Rシステム)を活用し, また, そのデータ活用・分析については, 本学独自のシステムとの連携方策を検討してきた。 今般, 国の「研究大学強化促進事業」に選定され, 本学が世界トップレベルの研究大学を目指し, 研究力強化に取り組むためには, 学内の研究シーズの把握は重要である。このため, 必要なツールとして, 既存システムの見直しも念頭においた集約大学情報データベース等, 新システムの構築をこの研究大学強化促進事業の取組の一環としてスピード感をもって整備することとしている。これにより, 研究シーズや各教員の活動状況等について一元的に管理し, 学内外への公開情報のより一層の充実を図る。 現在, 契約事務手続きに入っており, 仕様策定も終了し, より効果的な研究シーズのデータベース構築の実現を図ることとしている。</p>	<p>学術・社会 産学連携室 (学術)</p>	<p>第38回 (24.11.15)</p>	<p>対応済 (26.1.17報 告)</p>